

第59回

岡大サイエンスカフェ



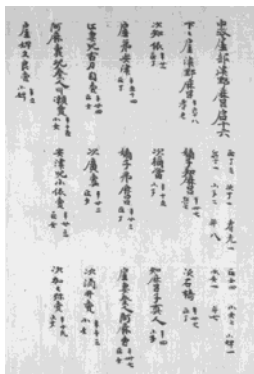
OKAYAMA UNIVERSITY



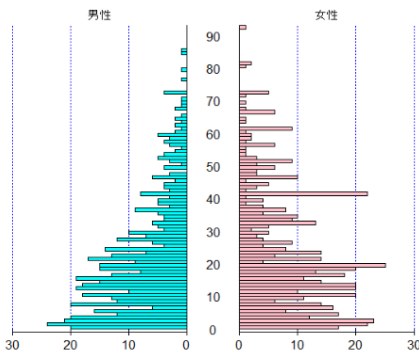
科学で読み解く日本の古代史 —人口・家族・病気・災害—

講師 岡山大学大学院社会文化科学研究科
教授 今津 勝紀

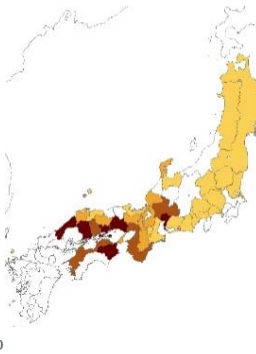
文献を主とした伝統的な歴史学の方法に、計算機を利用したシミュレーションの手法を取り入れることで、これまで史料的制約により手の届かなかった問題にアプローチします。正倉院文書に伝わる奈良時代の戸籍から当時の家族のあり方を復原し、そこで得られたデータをもとにして、人口動態のシミュレーションを行います。奈良時代のはじめから江戸時代のはじめにかけての人口増加を考えると、奈良時代の人口増加率は約2倍の高率となるのですが、その背景となる自然的条件や政治的・社会的条件にはどのようなものがあつたのでしょうか。飢饉に疫病、気象や災害のあり方、当時の人々の生産と生活のあり方を考えます。



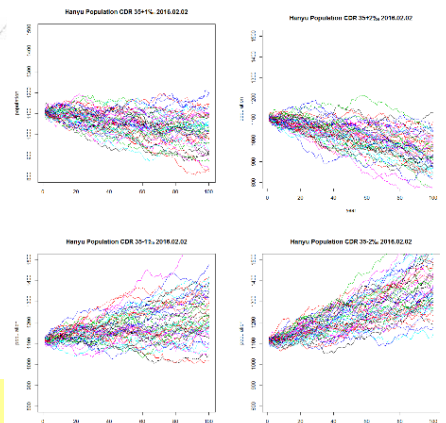
大宝二年(702) 御野国加毛郡半布里戸籍



半布里の人口構成



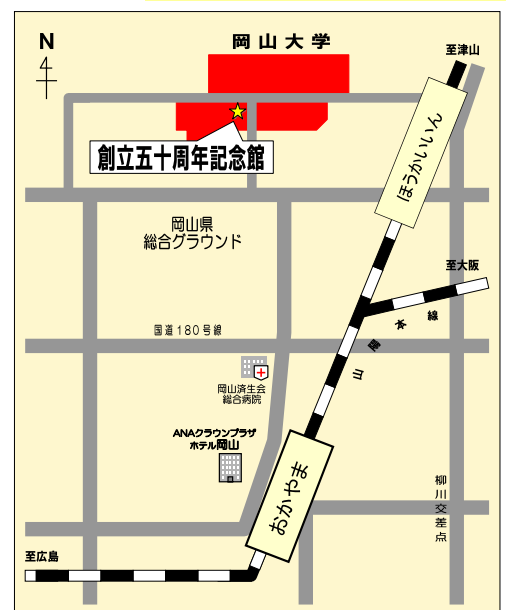
天平宝字年間(757-764)の飢饉発生国



粗死亡率を変化させた100年シミュレーション(各50回)

参加者募集

- ◆開催日時
平成29年2月21日(火) 午後6:00~7:30
- ◆開催場所
岡山大学創立五十周年記念館 2階
- ◆申込先
岡山大学研究推進産学官連携機構
TEL : 086-251-7112 FAX : 086-251-8467
E-mail : sciencecafe@okayama-u.ac.jp
http://www.orpc.okayama-u.ac.jp/event/sciencecafe_02.html
- 氏名・連絡先・車で来られる方はその旨を明記ください
- ◆締め切り 平成29年2月16日(木) 午後5時
- ◆参加費 無料
- ◆問い合わせ先
研究推進産学官連携機構 村上・松田
TEL : 086-251-7112



本催しは岡山県生涯学習大学連携講座として登録されております。

社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方ならどなたでも。